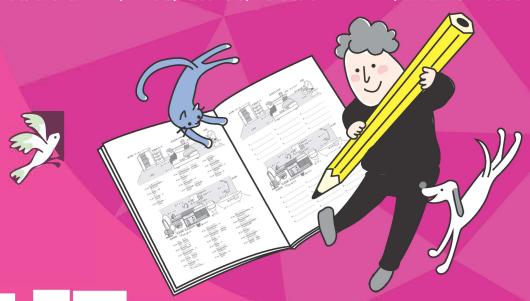
名詞を中心に、冠詞、前置詞、形容詞について、反復的に練習!



からまなぶ

ドイツ語トレーニング

横山 香





名詞からまなぶらい一名詞がある。

トレーニン

横山 香





本書は、名詞と、名詞に関連する品詞である冠詞、前置詞、形容詞について、反復的な 練習問題をつうじて、初級レベルのドイツ語を習得するためのトレーニングブックです。 名詞は人や物事の名称を示す品詞で、文中では主語や目的語や補語になるという重要な役 割を持っています。それゆえ名詞と名詞に関連する品詞を理解し語彙を増やすことは,言 語学習の基本になります。

本書前半部分は、ドイツ語文法の簡単な説明と、それに関する練習問題で構成されてい ます。説明を読んだうえで,練習問題をやってみましょう。解答は前半部分の終わりにあ ります(【追加練習】には解答はありません)。

後半の《語彙編》は、名詞の語彙を増やすためのドリルになっています。左ページには日 本語とドイツ語が書かれています。イラストがある場合は,それらを見て直感的に単語を 覚えてみてください。右ページでは,左ページの単語をドイツ語で書く練習ができます。1 日1ページといった目標を決めて、少しずつ、繰り返しやってみましょう。《語彙編》の右 ページを拡大コピーすれば、大きな字で何度でも練習できます。また、このページは PDF ファイルでも提供しています。以下の URL にアクセスしてダウンロードし,活用してくだ さい。

https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-378-7

《語彙編》には発音記号を併記していますが,前半部分ではカタカナで発音を表記してあ ります。これはあくまでも補助的なものです。カタカナを読むのではなく,ドイツ語のつ づりを見ながら (あるいは思い浮かべながら), 発音するように心がけましょう。本書には 音声は付属していませんので,以下のインターネットサイトを活用してドイツ語の発音に 慣れてください。

「トイツ語の音声が聞けるサイト(単語や文章を入力し、音声マークをクリックします)。

■ Wiktionary: Deutsch https://de.wiktionary.org/wiki/Wiktionary:Deutsch

https://ja.glosbe.com/de/ja ■ Glosbe ドイツ語 https://translate.google.co.jp/ ■ Google 翻訳

https://www.deepl.com/translator ■ DeepL 翻訳サイト

本書は名詞を中心とした品詞のみを扱っています。動詞の人称変化や語順については、 参考として前半の最後に説明を入れてあります。

ドイツ語は難解な言語ですが,まずは文法の説明を読み,簡単な練習問題をつうじて理 解を深め、繰り返し書くことで語彙力をつけましょう。理解できればきっと楽しくなり、 その魅力にとりつかれることになるでしょう。

本書の執筆にあたり、ネイティブチェックを担当し、ナチュラルなドイツ語について細やかなアドバイスをしてくださった土井ギーゼラ先生、ドイツ語および日本語の丁寧なチェック作業をしてくださった畠中茉莉子さんには心より感謝申し上げます。本書のイラストを担当してくださった高嶋良枝さんには、つたない説明からイメージ以上の素敵なイラストを生み出してもらいました。大変な作業に対し、厚くお礼申し上げます。そして最後になりましたが、企画から制作・編集まで根気よく担当してくださった株式会社語研編集部の宮崎喜子さんとスタッフの方々に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2022年3月

横山 香

【装丁・イラスト】高嶋良枝 【ネイティブチェック】土井ギーゼラ

アルファベートと	重要な発音		8
第1課 名詞の	性と複数形		12
①名詞の性 ②	複数形 ③合成語		
	写句のや亦ん		15
男 と 課 石 門 と	过詞の恰変に		
		、 ③男性および中性名詞(有冠詞 - ⑧定冠詞類	の 2 格 ④男性弱変化名詞
第3課 代名詞			30
①人称代名詞	②人称代名詞の語順	③不定代名詞 ④不定代	t名詞 man,jemand,niemand
		問代名詞 ⑧再帰代名詞	
第 4 課 前置詞			41
①前置詞の格支	配 ②時間を表す前	「置詞 ③方向を表す前置	司
④ da(r)- + 前電	置詞,wo(r)- + 前置詞	司	
⑤特定の名詞・	形容詞と結びついた	前置詞,前置詞を用いる	再帰用法
第5課 形容詞			51
_		と最上級の形 ③形容詞の	
④ 形容詞の名詞	引化(5)序数(6)非人	、称の es と形容詞を用いた	:表現
《付録》 閏億代名 記	a		59
	_] ③前置詞に支配された	
	5		(2)
			63
	、称変化 ②語順 ③ ein, haben, werden		
受取里安 勤的 5	eiii, ilabeii, werdeii	07八個友化	
練習問題の解答と角	解説		66
①家族・人間 ②食べ物	⑥書斎・キッチン⑦身につけるもの	_	⑩抽象的な名詞 ⑰季節・年月日・曜日・行事
③食事	(多)	③スポーツ・芸術・趣味	
④住居	9街	個学校生活・勉強	⑨数詞と序数
⑤寝室・浴室		⑤職業・人間関係	

Das Alphabet アルファベート

A	a	[aː]	アー	. P	p	[peː]	~-
В	b	[beː]	ベー	Q	q	[kuː]	クー
С	С	[tseː]	ツェー	R	r	[ɛr]	エル
D	d	[de:]	デー	S	S	[ɛs]	エス
Е	e	[eː]	エー	T	t	[teː]	テー
F	f	[ɛf]	エフ	U	u	[uː]	ウー
G	g	[geː]	ゲー	v	v	[faʊ̯]	ファォ
Н	h	[haː]	/ \—	: W	w	[veː]	ヴェー
I	i	[iː]	イー	X	X	[ɪks]	イクス
J	j	[jɔt]	ヨット	Y	y	[ˈrpsilɔn]	ユプシロン
K	k	[kaː]	カー	Z	Z	[tsɛt]	ツェット
L	1	[ɛl]	エル	Ä	ä	[13]	エー(アー・ウムラォト)
M	m	[ɛm]	エム	Ö	Ö	[øː]	エー(オー・ウムラォト)
N	n	[ɛn]	エヌ	Ü	ü	[yː]	ユー(ウー・ウムラォト)
0	0	[0:]	オー	•	ß	[ɛsˈtsɛt]	エスツェット

発音の原則

1 だいたいローマ字のように読む。

Lust 気持ち ○ **ル**スト × **ラ**スト

Name 名前 ○ ナーメ × ネイム

2 アクセントは第1音節=最初の母音にある。

Name

○ ナーメ × ナーメ

3 アクセントのある母音の後ろの子音の数で、母音の長短が決まる。

子音が 1 つ以下のとき:母音を長く発音 Name ○ ナーメ × ナメ

子音が 2 つ以上のとき:母音を短く発音 Lust ○ **ル**スト × **ルー**スト

r アクセントのない母音は短く発音する。 Name $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}{}$ $rac{}$ $rac{}$

重要な発音

1 母音の発音

- **ター**ル ファル Tal Fall [アー/ア] **♦** A, a 事例
- レーベン テンペル ♠ E, e [I-/I]L*e*ben T*e*mpel 神殿・寺 生活・生命
- **ティー**テル リス ♠ I, i [1-/1]Titel タイトル Riss ひび
- トーン トネ **♦** 0, 0 [オー/オ] Ton 音 Tonne 大型容器
- ムート フ**ル**ス **♦** U, u [ウー/ウ] Mut 勇気 Fluss Ш

2 ウムラウトの発音

- ◆ Ä, ä [**エー/エ**]:日本語の[エ]に近い。
 - **エー**ラ **ケ**ルテ Ära 時代 Kälte 寒さ
- **♦** Ö, ö [エー/エ]と表記しますが、実際は[オ]の口の形で[エ]を発音する感じです。
 - エール ケルン Öl 油 Köln ケルン(地名)
- ♦ Ü, ü [ユー/ユ]と表記しますが、実際は[ウ]の口の形で[イ]を発音する感じです。

リューゲ		フュ ンフ	
Lüge	うそ	fünf	5

3 二重母音

ei

- ハォス [**アオ**]:[ア<u>ゥ</u>]と[ア<u>ォ</u>]の間ぐらいの音 Haus 家
- **ア**インス [アイ] eins
- **オ**イロ ボイメ eu, äu 〔オイ〕 Euro Bäume ユーロ 木(複数形)

1

リーベ リーニエ ▲ [イエ] となる場合もある。 ie [**1**-] L*ie*be 愛 Linie

4 子音の発音

◆ 語末・音節末の -**b**[p][プ], -**d**[t][ト], -**g**[k][ク]

カルプ **キ**ント

Kalb 子牛 Kind 子ども Tag 日・昼

ターク

◆ -ch[x], [ç]: 喉から空気を出して発音する。

□ a, o, u, au の後ろで [x] [八] [フ] [木]

ナハト ブーフ Nacht 夜 Buch 本

□ 上記以外 [ç] [L]

ペヒ **ヒー**ナ

Pech 不運 China 中国

◆ 母音+h:hの発音はせず前の母音を伸ばす。

コール

Kohl キャベツ

◆ 語末・音節末の -ig [iç] 〔イヒ〕

ホーニヒ

Honig はちみつ

j[j]:ヤ行の音

ヤーパン

Japan 日本

◆ 語末・音節末の-r, -er : 軽く[ア]と発音する。

ベーア **ム**ッタァ

Bär クマ Mutter 母親

◆ **S**: 母音の前では [z] [ズ] になり、それ以外では [s] [ス]

ゾネ **ア**スト

Sonne 太陽 Ast 枝

◆ sch [ʃ] (シュ)

シュロス

Schloss 城

◆ 語頭の sp- [∫p] [シュプ], st- [∫t] [シュト]

シュ**ピー**ル シュ**トゥー**フェ

Spiel ゲーム・遊び Stufe 段

♦ tsch[tʃ][チュ]

ドイチュラント

Deu*tsch*land ドイツ

◆ v[f]: (フ)

フィーァ **ヴァー**ゼ **▲** [v]:[ヴ] になる場合もある(外来語)。

vier 4 Vase 花瓶

w[v]〔ヴ〕

ヴァーゲン

Wagen 車

◆ **z** [ts] (ツ)

ツーク

Zug 列車

◆ **ß**[s][ス]: 長母音および二重母音の後ろで用いられる。

フース

フ**ラ**イス

勤勉

Fuß

足 Fleiß

他にもドイツ語独自の発音がありますが、それぞれの単語で確認しながら、発音の規則を身につけていきましょう。

名詞は大文字で書かれるんだね!



英語の表記に慣れていると奇妙な感じだけど、文中で大文字の単語があると、 それが名詞だとすぐに分かるから、実は便利なんだよ!



名詞の性と複数形

文法メモ① 名詞の性

ドイツ語の名詞には【男性】【女性】【中性】という「**文法上の性**」があります。 たとえば Buch という単語を調べると、辞書には



Buch [bu:x] 【中】~[e]s/Bücher 本

の【中】(中性)のように、かならず文法上の性が書かれています。辞書で名詞を調べるときは、 意味だけではなく、性も調べて、セットで覚えましょう。



文法上の性は3つに分かれているんだね。簡単に見分ける方法はないのかな?

たとえば -ung, -keit, -heit, -tion で終わる名詞は女性名詞, -chen, -lein で終わる名詞は中性名詞だけど、慣れるまではとにかく辞書を引いて確認しよう!

練習②

次の名詞の性と意味を辞書で調べ、【 】に性(男・女・中)を、下線部には意味を書き入れましょう。また、発音の原則を考えながら、単語を発音してみましょう。

(1) Wasser	[]	 (9)	Tochter	[]	
(2) Zeitung	[]	 (10)	Wald	[]	
(3) Uhr	[]	 (11)	Tür	[]	
(4) Jugend	[1	 (12)	Datum	[]	
(5) Öl	[1	 (13)	Käse	[1	
(6) Eisen	[1	 (14)	Freund	[]	
(7) Risiko	[1	 (15)	Weg	[]	
(8) Brief	[1	 (16)	Vogel	[1	
Tht e							

《語彙編》の単語の性と意味を辞書で調べ、それぞれ発音してみましょう。

文法メモ② 複数形

数えられる名詞には複数形があります。辞書でスラッシュ(/)の右側に書かれているのが複数 形です。



Tisch [tiʃ]【男】~[e]s/~e 机

スラッシュの左側は後で学ぶ2格の形なんだ。男性・中性の語尾の-s,-esを複数形と間違わないようにしよう。

「~」は元の単語を示しています。つまり元の単語に -e をつけた Tische が複数形となります。 Buch 中 本 \to Bücher のように母音がウムラウトする単語では,複数形をそのまま書いてくれていることもあります。複数形は,以下の型に分けられます。

複数形の型		複数形		
◆ 無語尾型	Zimmer	中	部屋	Zimmer
ウムラウトする	Vater	男	父親	Väter
◆ -e 型	Tag	男	日	Tag <i>e</i>
ウムラウトする	Sohn	男	息子	S <i>ö</i> hn <i>e</i>
◆ -er 型 (発音は [ァ])	Kind	中	子ども	Kinder
ウムラウトする	Buch	中	本	Bücher
♠ n on ⊞	Tasche	女	カバン	Tasche <i>n</i>
◆ -n, -en 型	Frau	女	女性	Frauen
◆ -s 型 (発音は [ス])	Auto	中	車	Auto <i>s</i>

他にも Museum 中 美術館・博物館 \rightarrow Museen, Bau 男 建造物 \rightarrow Bauten のように特殊な形になる単語もあります。まずは辞書を引いて、それぞれの単語の複数形を覚えるようにしましょう。



複数形はいろんなパターンがあって、難しいね!

しかも Baum $(\underline{N} + \underline{A}) \rightarrow$ Bäume $(\underline{x} + \underline{A})$ のように、発音もかなり変わってしまうものもあるんだ。 Kind $(x + \underline{A}) \rightarrow$ Kinder $(x + \underline{A}) \rightarrow$ Comparison のように、語末の子音の発音の変化にも注意が必要だよ。



名詞と冠詞の格変化

文法メモ① 名詞の格

文中での名詞のおもな役割は、「主語」「目的語」「補語」です。ドイツ語では名詞の「格」によって、文中での名詞の役割を示します。1格~4格まであります。

□ 1格(主格):主語(「~が」「~は」)になる、または補語になる

「主語」は1格になります。文章には主語が必要なので、1格の名詞・代名詞が文中にはひとつあることになります。また、sein 「 \sim である」など、1格の補語(主格補語)をとる動詞があります。

□ 2格(属格):後ろから前の名詞にかかって「~の」になる

□ 3格(与格):間接目的語(「~に」)になる□ 4格(対格):直接目的語(「~を」)になる

4格の直接目的語をとる動詞のことを、ドイツ語では「他動詞」と呼びます。それ以外は「自動詞」です。



「1格・2格・3格・4格」 = 「が(は)・の・に・を」って 覚えると覚えやすそうだね!

でもときどき日本語と合わない動詞もあるんだ。fragenは「~に尋ねる」という意味だけど、「~に」の部分は4格を使うんだよ。だから、かならずその動詞が何格をとるかも一緒に調べておこう!

文法メモ② 冠詞の役割と格変化

名詞にはこのように「格」がありますが、名詞自体はほとんど格を示しません。その代わり冠 詞が名詞の格を示すことになります。冠詞は、それ自体の意味を持つと同時に、名詞の性と格を 示すという重要な役割を持っています。

◆ 不定冠詞と定冠詞の格変化表

複数形が-n で終わっていない場合は、3 格に-n がつきます (-s 型は除く)。

■ 不定冠詞「ある・ひとつの」(複数形にはつきません)

格	男性	女性	中性	複数
1 格	ein Mann	ein<i>e</i> Frau	ein Kind	Kinder
~が/~は	ひとりの男性 が /は	ひとりの女性 が/は	ひとりの子ども が/は	子どもたち が/は
2 格	eines Mann[e]s	ein<i>er</i> Frau	eines Kind[e]s	Kinder
~の	ひとりの男性 の	ひとりの女性 の	ひとりの子ども の	子どもたち の
3格	ein<i>em</i> M ann	ein<i>er</i> Frau	einem Kind	Kinder <i>n</i>
~に	ひとりの男性に	ひとりの女性に	ひとりの子どもに	子どもたち に
4格	ein<i>en</i> M ann	ein<i>e</i> Frau	ein Kind	Kinder
~を	ひとりの男性 を	ひとりの女性 を	ひとりの子ども を	子どもたち を

2 定冠詞「その」

格	男性	女性	中性	複数
1格	der Mann	die Frau	das Kind	die Kinder
~が/~は	その男性 が /は	その女性 が /は	その子ども が/は	その子どもたち が /は
2 格	des Mann[<i>e</i>]s	der Frau	des Kind[<i>e</i>]s	der Kinder
~の	その男性 の	その女性 の	その子ども の	その子どもたち の
3格	dem Mann	der Frau	dem Kind	den Kinder <i>n</i>
~に	その男性に	その女性に	その子どもに	その子どもたちに
4格	den Mann	die Frau	das Kind	die Kinder
~を	その男性 を	その女性 を	その子ども を	その子どもたち を

3 不定冠詞・定冠詞の発音

		不定冠詞	•••••	定冠詞				
	男性	女性	中性	男性	女性	中性	複数	
1格	アイン	アイネ	アイン	デア	ディー	ダス	ディー	
	ein	eine	ein	der	die	das	die	
2 格	アイネス	アイナァ	アイネス	デス	デア	デス	デア	
	eines	einer	eines	des	der	des	der	
3 格	アイネム	アイナァ	アイネム	デム	デア	デム	デン	
	einem	einer	einem	dem	der	dem	den	
4 格	アイネン	アイネ	アイン	デン	ディー	ダス	ディー	
	einen	eine	ein	den	die	das	die	

あれ? よく見ると、同じ形 もあるよね。男性以外では、 1格と4格は同じだから、主 語と目的語は冠詞で区別がつ けられないんじゃないかな? 実はそうなんだ。ドイツ語の場合、文頭に来る名詞が主語とは限らないので、女性・中性・複数名詞が1格か4格かを見きわめるには、文中の他の名詞の格や、動詞の用法や人称変化の形、あるいは文脈などに注目する必要があるんだ。



本書では名詞の性・数を, 男性=男, 女性=女, 中性 =中, 複数形=複, または定冠詞1格の形(男性= der, 女性= die, 中性= das, 複数形= pl.)で示します。

文法メモ③ 男性および中性名詞の2格

上記の表のように、男性および中性の 2 格には、-s または -es の語尾がつきます。単語によって語尾が決まっていますので、辞書を引いて確かめましょう。



Buch [buːx] 【中】~[e]s/Bücher 本

スラッシュ(/)の左側の \sim [e]s が 2 格の形になります。Buch の 2 格は,Buch**es** でも Buch**s** でも,どちらでもよいということになります。

練習②					
1 次の名詞	の意味と2格の形	を,辞書で調べ ⁻	て書いてみまし	ょう。	
(1) Turm	男	Turm	(5) Museum	Ф	Museum
(2) Zug	男	Zug	(6) Fahrrad	Ф	_ Fahrrad
(3) Lehrer	. 男	Lehrer	(7) Feld	Ф	Feld
(4) Fluss	男	Fluss	(8) Haus	Ф	Haus
追加練習					
《語彙編》(の男性および中性の	名詞について, 2	格の形を調べ	てみましょう。	
2 それぞれ	の名詞に不定冠詞:	をつけて格変化な	させましょう。		
	ein Zug 男 列車	eine	Bahn 女 電車	ein Fahr	rrad 中 自転車
1格				_	
2格					
3格					
4格					
1860					
《語彙編》(の単語に不定冠詞で	をつけて, 格変化	との練習をしま	しょう。	
3 それぞれ	の名詞に定冠詞をつ	つけて格変化させ	さましょう。		
de	er Fluss 男 川	die See 女海	das Feld	中野·畑 die	Wälder 複 森
0.15					
3格					

《語彙編》の単語に定冠詞をつけて、格変化の練習をしましょう。

4格

文法メモ①~④まとめの練習 🛭

★単語ヒント: (1) das これは・それは

(☞「指示代名詞」37ページ参照)

1 1	格(主語):日本語	に合うように, [] に不定冠言	同または定冠	詞を書き入れましょう。
(1)	<u>ひとりの</u> 男子生徒か	べそこで作業をしている	3 。 [] Scl	hüler arbeitet da.
(2)	その 男子生徒 は熱べ	ごだ。	[] Scl	hüler ist fleißig.
(3)	<u>ひとりの女子生徒</u> か	べそこで作業をしている	3。 [] Scl	hülerin arbeitet da.
(4)	その 女子生徒 は熱べ	ごだ。	[] Scl	hülerin ist fleißig.
(5)	ひとりの 子ども がそ	そこで作業をしている。	[] Kiı	nd arbeitet da.
(6)	その 子ども は熱心た	ž.]] Kiı	nd ist fleißig.
(7)	子どもたちがそこで その 子どもたち は素		Ki [inder arbeit] Ki i	en da. nder sind fleißig.
追加 総 《語 心》	(2) ist, sind 東習 — — — — 音彙編》の人を表す だ。」という文章を 格(補語): 単語	ーーーーーー [−] 単語を使って,「ひ 作ってみましょう。 帳の名詞を参考にし	る・~である (¤ - — — — とりの○○か	☞ 65 ページ) — — — — - ヾそこで作業	fleißig [形容詞] 熱心な をしている。その○○は熱 または定冠詞を,下線部に
	名詞を書き入れま これは (一枚の) 封 Das ist [<u>.</u>	=	—— 単語帳 🚇 ———] Buch
(2)	これは <u>(ひとつの)</u> Das ist [カバン だ。]	<u>.</u> ·		pl. Bücher] Füller
(3)	これは <u>(一冊の)</u> 本 Das ist [だ。]	<u>.</u>]] Heft] Tasche] Uhr
(4)	これが <u>その</u> ノートた Das ist [i.]		-] Umschlag
(5)	これが <u>その</u> 万年筆 だ Das ist [ë.]		練習問題に「	長の使い方 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――
(6)	これが <u>その時計</u> だ。 Das ist [1	_	ストにある単記 も)で,アルフ	てから練習問題をしましょう。リ 吾は名詞(問題によっては形容詞 ファベート順に並べられています。 (男または der,女または die,
(7)	これが <u>それらの本</u> (Das sind [ましょう。複数 み書かれている	を, には, 意味を書き入れ 対形は練習問題に出てくる場合の ます。無変化・語尾のみの場合は
				·-」, ·-e」とい	うように, また語幹の母音が変化

する場合は下段に pl. として記しています。

文法メモ① 人称代名詞

人称代名詞は,話し手(1人称),聞き手(2人称),それ以外(3人称)を指す代名詞で,名詞の代わりなので格があります。

	1人称			2人称,	*	3 人称 **			
			親称		敬称		3 入孙		
	単数	複数	単数	複数	単・複数	男性	女性	中性	複数
1格	イッヒ	ヴィーァ	ドゥー	イーァ	ズィー	ェーァ(エァ)	ズィー	エス	ズィー
	ich	wir	du	ihr	Sie	er	sie	es	Sie
	私は	私たち は	君は	君たち は	あなた(方)は	彼は	彼女 は	それ は	彼ら・それらは
3 格	ミーァ	ウンス	ディーァ	オイヒ	イーネン	イーム	ィーァ	ィーム	イーネン
	mir	uns	dir	euch	Ihnen	ihm	ihr	ihm	ihnen
	私に	私たち に	君に	君たち に	あなた(方)に	彼に	彼女に	それに	彼ら・それら に
4格	ミッヒ	ウンス	ディッヒ	オイヒ	ズィー	イーン	ズィー	エス	ズィー
	mich	uns	dich	euch	Sie	ihn	sie	es	sie
	私を	私たち を	君を	君たち を	あなた(方) を	彼 を	彼女 を	それ を	彼ら・それら を

▲2格は現在ではほとんど用いられないので省略します。

- * 2 人称には《親称》と《敬称》があり、家族や友人など遠慮のない間柄では《親称》が、それ以外の相手には《敬称》が 一般的に用いられます。本書では《親称》を「君(たち)」、《敬称》を「あなた(方)」とします。
- **3 人称単数の人称代名詞は**文法上の性**に対応させます。上記の表では便宜上, 男性=「彼」, 女性=「彼女」, 中性=「それ」と書いていますが, 英語のように人と物・事の区別ではないため, 男性・女性でも物・事を指す場合は「それ」となります。また中性でも人を指すことがあります。

sie や ihr など、人称代名詞には同じ形があるので注意が必要だ。ihr は所有冠詞(3 人称女性・複数)でも出てきたね。3 人称の人称代名詞・所有冠詞は基本的に前出の名詞を指しているから、性と数を手がかりに元の名詞をたどって理解するようにしよう。



練習②

[1] [x4 = 4/4 x - 2 x4/4 + 2		1	
1 次の点線および波線を引いた名詞の性と格に注意して,人称代名詞	1-1 =	1 1 7	
	v – U – L	しょり	

(1)	Das Spielzeug gehört dem <u>Jungen</u> .	_		── 単語帳 □ ────
	→ gehört	[]]	Frau, -en
<i>(</i> - <i>)</i>		[]]	Junge(男性弱変化)
(2)	Die <u>Puppe</u> gehört dem <u>Mädchen</u> .	[]]	Koffer,
	→ gehört	[]]	Mädchen
(3)	Der Koffer gehört der Frau.	[]]	Mann
(3)		[]]	Puppe
	→ gehört	[] :	Schrank
		Г	1 (Snielzeug

(4)	Die Koffer gehören den Frauen.	→		g	ehören
(5)	Der <u>Junge</u> kauft das <u>Spielzeug</u> .	→		k	auft
(6)	Das <u>Mädchen</u> kauft die <u>Puppe</u> .	→		k	auft
(7)	Die <u>Frauen</u> kaufen den <u>Schrank</u> .	→		k	aufen
(8)	Der <u>Mann</u> kauft die <u>Koffer</u> .	→		k	auft
Tomoroom	意味に合う人称代名詞を入れてみましょう。 考えてください。	「君(たち)」	は親	称で	,「あなた(方)」は敬称で
(1)	君は私を好き? ――うん、好きだよ。		_		■ 単語帳 🚇 =====
	Magst?		ſ		Buch
	— Ja, mag		٠		Bücher
(2)	君たちは私たちを好き? ― うん, 好きだよ。		[]	Geburtstag
(2)			[]	Schal
	Mögt ?		[]	Stadtplan
	— Ja,mögen	~~ .	[]	Weihnachten
(3)	あなたは私を知っていますか。 ――ええ, 知って	いますよ。			
	Kennen ?				
	— Ja,kenne	~ . '			
(4)	誕生日に,君は私に何をくれるの? ——マフラー	をあげるよ			
(4)	Was schenkst		urte	tag?	
	— schenke			tag:	
	Schenke	emen sena	1.		
(5)	クリスマスに、君たちは私たちに何をくれるの?	本をあげ	るよ。	,	
	Was schenkt	$_{\sim}$ zu Weihn	acht	en?	
	— schenken	_∞ Bücher.			
(6)	<u>私に</u> 街の地図をくれますか。 ——ええ, この地図	を差し上げま	しょ	う。	
-	Geben eine				
	— Ja,gebe			n.	

★単語ヒント:(1) magst, mag - mögen [他動詞] (4格を) 好きである (3) kennen [他動詞] (4格を) 知っている (4) zum = zu dem。zu は前置詞で「~の時に」 (6) geben [他動詞] (3格に4格を) あげる

文法メモ② 人称代名詞の語順

名詞・	人称代名詞の	3格と4	格が文中にある場	合. 次のよ	うな語順にな	ります。
-----	--------	------	----------	--------	--------	------

Ū	どちらも名詞であれば 3 格+4 格						
	Ich kaufe meiner <u>Tochter</u> das <u>Buch</u> . 3 格 4 格	私は私の	り娘にそ	の本を買	う。		
2	ひとつが名詞,ひとつが代名詞であれば1	代名詞+	名詞				
	Ich kaufe <u>ihr</u> das <u>Buch</u> . 私は彼女にその 代名詞 名詞	の本を買う	.				
	Ich kaufe <u>es</u> meiner <u>Tochter</u> . 私はそ 代名詞 名詞	れを私のタ	娘に買う	0			
3	どちらも代名詞であれば 4格+3格						
	Ich kaufe <u>es</u> <u>ihr</u> . 私はそれを彼女に買う 4格 3格	o					
*	777 (C)						
ļ	골 (2)						
	欠の日本語を,()の単語を使ってドイ` に書き換えましょう。[]にはそれぞれ				,	に従って	人称代名詞
v		0 6 707	千四7	ハフムリ	0		
(1)	・彼らは彼らの父親 (Vater) にそのカップ (Be	echer 男)	を渡す。				
	Sie geben [] [][][].	
	→ 父親を人称代名詞に:Sie geben [][][].
	→ カップを人称代名詞に:Sie geben [][][].
	→ 父親・カップを人称代名詞に:Sie gebe	en [][].	
(2)	君は君の娘 (Tochter) にその花瓶 (Vase 女)	をプレゼ	ントする	5 。			
	Du schenkst [] [][][].	
	→ 娘を人称代名詞に:Du schenkst [][][].
	→ 花瓶を人称代名詞に:Du schenkst [][][].
	→ 娘・花瓶を人称代名詞に: Du schenks	t[][].	
(3)	私はその女の子 (Mädchen 中) にそれらのク	ブラス (Gla	iser 複)	を買う。			
	Ich kaufe [] [][][].	
	→ 女の子を人称代名詞に:Ich kaufe [][][].
	→ グラスを人称代名詞に:Ich kaufe [][][].

→ 女の子・グラスを人称代名詞に:Ich kaufe [] [].

前置詞

文法メモ① 前置詞の格支配

前置詞は名詞の前に置かれ、その名詞とともに、場所・方向・時間・手段・目的・理由などの 意味のまとまり(句)を作ります。前置詞と一緒に使う**名詞には格が生じます**。これを「**前置詞 の格支配**」といいます。



前置詞を使うときは、1格=主語、4格=直接目的語…というのとは、違うルールになるんだね!

そうなんだ。だから前置詞を辞書で調べるときは、意味だけではなく、その前置詞の支配格も調べて、一緒に覚えるんだよ!



● 融合形

an, in, zu など, 一部の前置詞は, 定冠詞とともに**融合形**を作ります。指示的な意味が弱い(ない) 定冠詞とともに用いる場合は、融合形を使います。

例: am Montag 月曜日に

zur Post gehen 郵便局へ行く

(am = an dem)

(zur = zu der)

■ 2 格支配の前置詞

シュタット ロ statt	~の代わりに	statt meines Vaters	私の父親の代わりに
トロッツ ロ trotz	~にもかかわらず	trotz <i>des</i> Regens	雨にもかかわらず
ヴェーレント	~の間に(期間)	während <i>des</i> Frühlings	春の間に
ヴェーゲン ロ wegen	~のために(理由)	wegen <i>des</i> Fiebers	熱のために

2 格支配の前置詞は他にもたくさんあり、多くは書きことば的です。上記の前置詞は、話ことばで用いられる際には3 格支配になることがあります。

練習 🗟

1 []に対	足冠詞を入れて, 前置詞	句を訳してみましょう。
(1) wegen [] Kälte	単語帳 🚇 ====
(1) Wegeni	Marte	[] Hitze
(2) während [] Winterferien	[] Kälte
(3) trotz[] Hitze	[] Mantel
(4) statt[1 Mantels	pl. Winterferien

■ 3 格支配の前置詞

アォス ロ aus	~(の中) から	aus der Tasche	カバンの中から
バイ ロ bei	バイム [融合形 beim (= bei dem)] ①~のところで ②~の際に	bei <i>den</i> Eltern bei <i>der</i> Arbeit	両親のところで 仕事の際に,仕事中に
エントラング ロ entlang	~に沿って	entlang der Straße die Straße entlang	通りに沿って (後置の場合は4格支配)
≅ット ロ mit	①~と一緒に ②~によって (手段)	mit ihnen mit dem Bus	彼らと一緒に バスで
+−/\ □ nach	①~の後に,後で ②~の方へ ③~によれば,~にしたがって	nach dem Essen nach Kyoto nach meiner Meinung meiner Meinung nach	食事の後で 京都へ 私の意見では (後置されることがある)
ザイト ロ seit	~以来,~から	seit einer Woche	1週間前から(ずっと)
フォン ロ VON	フォム [融合形 vom (= von dem)] ①~から (起点) ②~によって ③~について ④~の (2 格の代用:口語的)	von Montag bis Freitag von einem Politiker von der Reise das Auto von dem Mann = das Auto des Mannes	月曜日から金曜日まで ある政治家によって 旅行について その男性の車
ッ– D ZU	ッム [融合形 zum (= zu dem) zu m ~(のところ) へ		私の母のところへ

2 []に日本語の意味に合った3格支配の前置詞(または融合形)を入れましょう。

(1)	私は 駅 へ行く。	Ich gehe [] Bahnhof.
(2)	これは教会への道だ。	Das ist der Weg [] Kirche.
(3)	1か月前から彼女は病気だ。	[] einem]	Monat ist sie krank.
(4)	私たちは車で行く。	Wir fahren [] dem Auto .
(5)	彼らは彼らの 友人たち と旅行する。	Sie reisen [] ihren Freunden .
(6)	彼らは8時から12時まで働いている。	Sie arbeiten [] 8 bis 12 Uhr .

文法メモ① 形容詞の用法

形容詞は名詞の性質、状態、形状などを表す品詞です。以下の用法があります。

■ 述語的用法 Der Wein ist gut. そのワインは良い。

■ 付加語的用法 Wir trinken den *guten* Wein. 私たちはその<u>良い</u>ワインを飲む。

■ 副詞的用法 Er spricht *gut* Deutsch. 彼はドイツ語を上手に話す。

付加語的用法では、以下のように、形容詞の語尾が変化します。

	A 定冠	詞類+形容	『詞+名詞((弱変化)	₿ 不定冠詞類+形容詞+名詞(混合変化)			(混合変化)
	男性	女性	中性	複数	男性	女性	中性	複数
1格	-e	-е	-е	-en	-er	-е	-es	-en
2格	-en	-en	-en	-en	-en	-en	-en	-en
3 格	-en	-en	-en	-en	-en	-en	-en	-en
4格	-en	-е	-e	-en	-en	-e	-es	-en

定冠詞類:定冠詞,dieser, welcher, jeder など 不定冠詞類:不定冠詞,所有冠詞,否定冠詞

	₿ 形容詞 + 名詞(強変化)				
	男性	女性	中性	複数	
1格	-er	-е	-es	-е	
2格	-en	-er	-en	-er	
3 格	-em	-er	-em	-en	
4格	-en	-е	-es	-е	

dunkel「暗い」→ dunkles Bier「黒ビ ール」のように、付加語的用法で -e が 欠落するような形容詞(teuer, sauer な ど) もあるんだ。また無冠詞で数えら れない名詞と用いる viel「たくさんの」, wenig「少しの」や、地名を表す形容詞 など,変化しない語尾にも注意!

-			
1	次の形突詞を辞書で調べ	音味を聿キ‡	ょう

(1) alt	(11) leicht	(21) hell
(2) neu	(12) schwer	(22) dunkel
(3) jung	(13) heiß	(23) schnell
(4) klein	(14) warm	(24) billig
(5) groß	(15) kühl	(25) teuer
(6) schön	(16) kalt	(26) wichtig
(7) nett	(17) kurz	(27) praktisch
(8) viel	(18) lang	(28) hart
(9) wenig	(19) hoch	(29) gut
(10) müde	(20) tief	(30) schlecht

追加練習

《語彙編》の名詞と 51 ページの形容詞を使って、「その(私の・君の・彼の・彼女の…) \Box は Δ Δ だ」という文章を作ってみましょう。 \Box \Box には名詞を、 Δ Δ には形容詞を入れましょう。

2	次の形容詞に適	切な語尾を入れ,形容詞とタ	名詞の部分を訳して	みましょう。
(1)	Mein klein	Sohn trinkt gern heiß	Tee.	\\ \\ \= \

	私の	は,	を飲むの	が好
	きだ。			
(2)	Unsere alt	Freundin trinkt gern	japanisch	Bier
	私たちの 好きだ。	は,	を飲る	むのが
(3)	Sein krank	_ Kind trinkt warm _	Milch.	
	彼の	にす,	を飲んでいる	, , ,
(4)	Der schlank _	Mann dort sucht e	ine rot Kra	watte
	あそこにいるそ 探している。	のは	,	<u></u> を
(5)	Das hübsch	_ Mädchen dort sucht	einen kurz	Rock
	あそこにいるそ 探している。	のは	,	<u></u> を
(6)	Die schön	Frau dort sucht ein g	gelb Kleid.	
	あそこにいるそ を探している。	のは	,	
(7)	Die reich	Kunden kaufen diese	n teur Rin	g.
	その	が,この	を買う	0
(8)	Sie findet dies	e rund Brille ihre	er nett Tan	te gu
	彼女は彼女の 良いと思う。	の, こ	の	र
(9)	Findest du die	sen leicht Comp	uter praktisch?)
	君はこの	を便利だと	思う?	
(10)	Legen Sie bitte Karton hier!	e dieses schwerE	Buch in den har	rt
	この に入れてくださ	_は, ここのその い!		

(11) Er findet das **neu____ Wörterbuch** nicht schlecht. 彼はその を悪くないと思っている。

名詞	
[] D:	
[] Bier	
[] Brille	
[] Buch	
pl. Bücher	
[] Computer	-
[] Fenster	
[] Frau	
[] Freundin	
[] Karton	
[] Kind, -er	
[] Kleid	
[] Krawatte	
[] Kunde, -n	
[] Mädchen	
[] Mann	
[] Mensch	
[] Milch	
[] Museum	
[] Ring	
[] Rock	
[] Schriftsteller	
[] Sohn	
[] Stadt	
[] Tante	
[] Tee	
[] Turm	
[] Wochenende	
[] Wörterbuch	

① 定関係代名詞

定関係代名詞は、先行する名詞について説 明する文章 (関係文) のなかで、その名詞の代 わりとして用いられる代名詞のことです。英 語の which, that, who などに相当しますが、 人と物・事の区別はなく、先行詞の性と数に よって用いることになります。

定関係代名詞の形は指示代名詞と同じです が、関係文では**定動詞が後置**されます。関係 文の前後にはコンマを打ちます。

定関係代名詞 der の格変化

	男性	女性	中性	複数
1格	デア	ディー	ダス	ディー
	der	die	das	die
2 格	デッセン	デーレン	デッセン	デーレン
	dessen	deren	dessen	deren
3 格	デム	デア	デム	デーネン
	dem	der	dem	denen
4格	デン	ディー	ダス	ディー
	den	die	das	die

Ich kenne den Mann. 私はその男性を知っている。 例:1格

> Der Mann sitzt auf dem Sofa. その男性はソファーに座っている。

⇒ Ich kenne den *Mann*, *der* auf dem Sofa sitzt. 私は、ソファーに座っているその男性を知っている。

- □ 先行詞は Mann (男性)で、関係文での格は主語になっているので 1 格。したがって「男性・ 1格」の定関係代名詞を関係文の文頭に置く。
- □ 関係文の定動詞 sitzt は文末 (定動詞後置)。
- 例:2格 Ich kenne den Mann. 私はその男性を知っている。

Der Vater des Mannes ist Politiker. その男性の父親は政治家だ。

- ⇒ Ich kenne den *Mann*. **dessen** Vater Politiker ist. 私は、父親が政治家であるその男性を知っている。
- □ 先行詞は Mann (男性) で、関係文での格は Vater にかかる 2 格。
- □ 定関係代名詞が Vater の前に来ることで、Vater の冠詞 (der) はなくなる。

練習 📝

1 1 枚

] に適切な定関係代名詞を入れ、関係文と先行詞の部分を訳してみましょう。

	1 16
(1)	Ich suche einen Film

ı, [] sehr spannend ist.

私は (2) Er kauft eine Uhr, [] sehr teuer ist.

彼は を買う。

を探している。 [] Film _____] Problem, -[] Uhr

── 単語帳 □ =

① 動詞の現在人称変化

動詞の元の形(不定詞)は -en か -n で終わっています。その語尾を取り、人称に合わせた語尾をつけます(動詞の人称変化)。人称変化させるためには、主語になる1格の人称代名詞と、それに対応する語尾を覚える必要があります。

			単数			複数	
1人称		ich	私は	-e	wir	私たちは	-en/-n
0.115	親称	du	君は	-st	ihr	君たちは	-t
2 人称	敬称	Sie	(Sはつねに大文字)	あなたは・	あなたは・あなた方は		-en/-n
	男性名詞	er	彼 (男性名詞) は				
3人称	女性名詞	sie	彼女(女性名詞)は	-t	sie	彼らは・それらは	-en/-n
	中性名詞	es	それ(中性名詞)は				

- □語幹が-s,-ss,-ß,-zで終わる動詞(heißen, tanzen など)では, duの語尾は-t (例: du tanzt)。
- □ 語幹が -d, -t などで終わる動詞 (finden, arbeiten など) では, du, er/sie/es, ihr のときに ロ調上の -e が必要 (例: du arbeitest, er/sie/es arbeitet, ihr arbeitet)。
- □現在人称で不規則変化する動詞として、以下のようなものがある。
 - [a] → [ä] 型の不規則動詞(例:fahren「(乗り物で) 行く」du fährst, er/sie/es fährt)
 - [e] → [i] 型の不規則動詞(例:sprechen「話す」du sprichst, er/sie/es spricht)
 - [e] → [ie] 型の不規則動詞(例:sehen「見る」 du siehst, er/sie/es sieht)
 - その他 (例: wissen 「知っている」 ich weiß, du weißt, er/sie/es weiß)

② 語順

■ 平叙文

ドイツ語の語順の原則は、文中の人称変化した動詞(=**定動詞**)の位置が2番目に来ることです。これを「**定動詞第2位**」の原則といいます。

Wir **spielen** heute Fußball. 私たちは今日サッカーをする。 Heute **spielen** wir Fußball. 今日,私たちはサッカーをする。

語彙編

ここからは、単語のドリルになります。手で書き、口に出して発音することで、語彙力をつけます。前半の ^{準加}練習 にも活用しましょう。

〈使い方〉

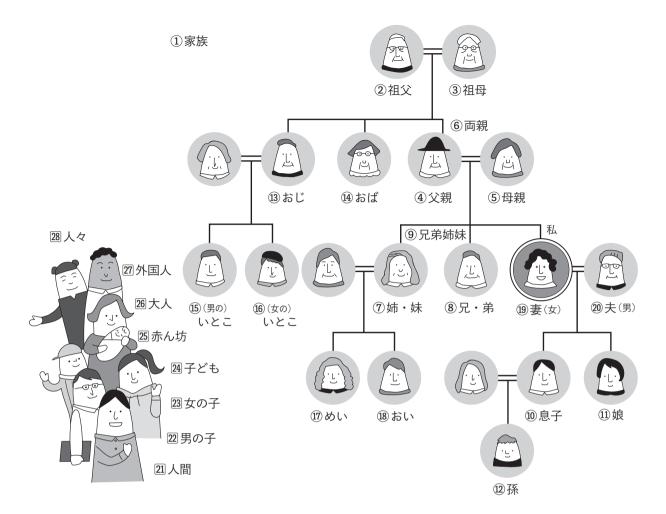
◆左ページには、次のようにドイツ語の単語と発音が書かれています。

ファール・プラーン プレーネ Fahrplan, -pläne [faːg.pla:n] [-plɛ:nə]

- der = 男性, die = 女性, das = 中性, pl. = 複数です。例の Fahrplan は男性名詞ということになります。
- 複数形はコンマのあとに示しています。無変化の場合は、ハイフン「-」のみです。語尾がつく場合は、-e、-er のように語尾を示します。ウムラウトする場合は、複数形をそのまま書くか、合成語では後半部分のみ書いています。複数形がない(その意味ではあまり使用されない)場合には、何も書かれていません。例の Fahrplan の複数形は Fahrpläne ということになります。
- 読み方はカタカナで示し、アクセントのある部分は太字にしています。カタカナは補助的なものですので、なるべくカタカナを読まずに、ドイツ語のつづりから発音するようにしましょう。発音記号も併記していますので、活用してください。
- 右ページには、番号と日本語が書かれています。対応するドイツ語を書いてみましょう。
 - 性別は左ページ同様,定冠詞1格(男性= der,女性= die,中性= das),もしくはその 語尾(男性= r.,女性= e., 中性= s.)で書くことを推奨します。
 - 複数形 (pl.) は,慣れるまでは単語で書いてみましょう。慣れてくれば語尾だけを書きましょう。
 - まずは左ページを見ながら書いて覚え、その後はなるべく見ないで書いてみましょう。右ページを拡大コピーすれば、大きな字で何度も練習できます。以下のサイトから PDF ファイルをダウンロードすることもできます。

https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-378-7

• 定冠詞とともに何度か口に出して発音練習をすれば、性と一緒に覚えられ、語彙力アップ につながります。



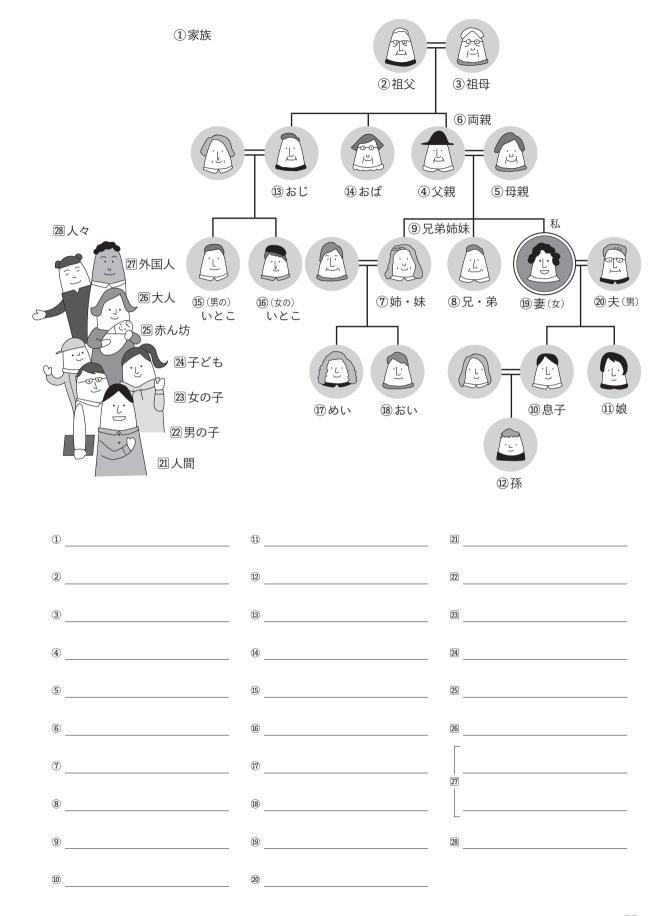
- ① die Familie, -n
 [faˈmiːli̯ə]
- $\text{ 3 die } \begin{array}{ll} \textit{Großmutter}, & \texttt{\mathbb{R}_{9}} \\ \textit{Großmutter}, & -\text{mütter} \\ \textit{['gros;mote]} & \textit{[-myte]} \\ \end{array}$
- (4) der Vater, Väter ['fa:te'] ['fe:te']
- (5) die Mutter, Mütter ['myte]
- ⑥ pl. Eltern
- 9) pi. | Eftern ['elten] シュ**ヴェ**スタァ
- Tigged die Schwester, -n ['Jveste]
- $\text{ $\{ \}$ der } \begin{array}{ll} \mathbb{Z} n \mathbb{Z}_{\mathcal{T}} & \mathbb{Z} \mathcal{Y}_{\mathcal{T}} \mathbb{Z}_{\mathcal{T}} \\ \text{Bruder, } & \text{Brüder} \\ \text{['bru:de]} & \text{['bry:de]} \end{array}$
- 9 pl. Geschwister [gəˈʃvɪstɐ]
- (1) der Sohn, Söhne [zo:n] ['zø:nə]

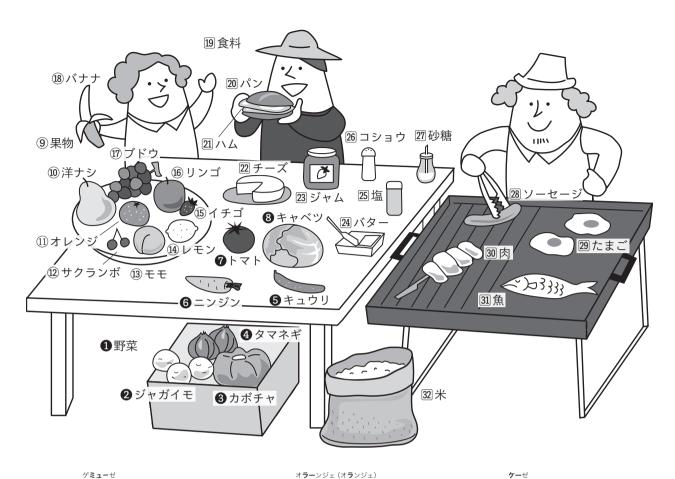
- (1) die $\begin{array}{ccc} k\pi \not 9_{\mathcal{T}} & \overline{\tau} \not \vdash \not 9_{\mathcal{T}} \\ Tochter, & Töchter \\ ['toxte] & ['toeçte] \end{array}$
- ② das Enkelkind, -er
 ['εŋklkint]
- オンケル Onkel, ['ɔŋkḷ]
- ⑤ der Cousin, -s
 [kuˈzɛ̃:]
- の die Cousine, -n または Kusine, -n [kuˈziːnə]
- \mathbb{P} die $\overset{=}{\underset{[\text{inigta}]}{\text{Nichte}}}$ -n
- ® der **Neffe**, -n ※弱変化 ['nɛfə]
- (2) der Mann, Männer [man] ['mene]

- メンシュ ② der Mensch, -en ※弱変化 [menf]
- ユンゲ ② der **Junge, -n** ※弱変化 ['jʊŋə]
- 23 das Mädchen, ['mɛːtçən]
- # das **Kind**, -er [kint]
- 25 das Baby, -s ['be:bi]
- der/エァヴァクセネ

 Erwachsene ※形容詞変化
 [Egyaksene]
 - der Ausländer, ['ays,lende]
 - die Ausländerin, -nen ['aus,lenderin]
- $\begin{array}{ll} \text{ pl. } & \overset{\text{Π4$}\,\text{$\mp$}}{\text{$Leute$}} \\ \text{['loɪtə]} \end{array}$

27





f das Gemüse, [gəˈmyːzə]

● die Kartoffel, -n
[kar'tɔfl]

● der Kürbis, -se ['kyrbis]

● die Zwiebel, -n [ˈtsviːbḷ]

グルケ

6 die **Gurke**, -n ['gurkə]

die Karotte, -n [karote]

die Möhre, -n

7 die Tomate, -n [to'ma:tə]

3 der **Kohl** [ko:l]

オ(ー)プスト

(9) das Obst [o(:)pst] ピルネ

(1) die Birne, -n

① die Orange, -n
[oˈrɑ̃ːʒə] ([oˈraŋʒə])

② die Kirsche, -n ['kır∫ə]

プライルズィヒ
③ der Pfirsich, -e
['pfirziç]
ツィトローネ

(b) die Erdbeere, -n ['e:gtbe:re]

® die Traube, -n ['traube]

® die Banane, -n
[ba'namə]

19 pl. Lebensmittel ['le:bṇs,mɪtl]

 $\exists das \; \begin{array}{c} \exists \neg \neg \vdash \\ Brot, -e \\ [brost] \end{array}$

2 der Schinken, ['ʃιŋkṇ]

② der Käse, -[ˈkɛːzə] ¬ルメラーデ

23 die Marmelade, -n [marməˈlaːdə]

グッタァ

A die Butter
['bote]

25 das **Salz** [zalts]

26 der Pfeffer ['pfefe]

שיאה zucker [ˈtsʊkɐ]

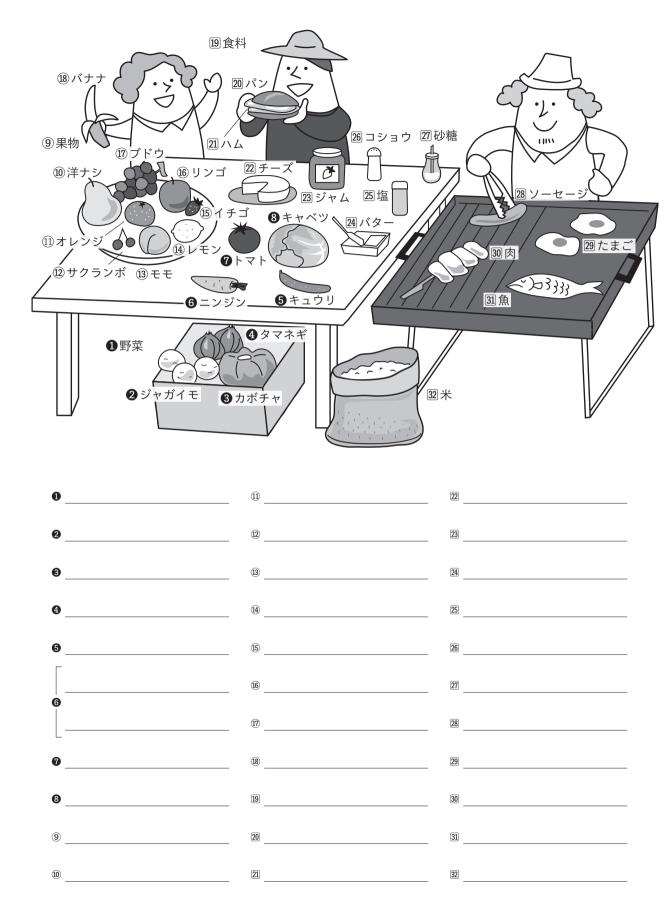
Murst, ヴュルステ ヴュルステ Würste [vurst] ['vyrstə]

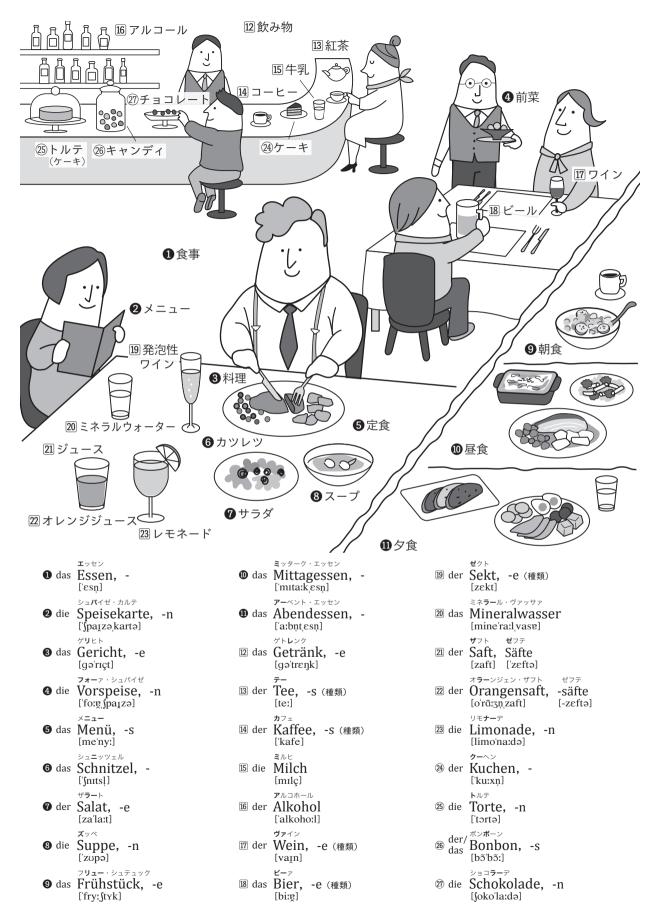
29 das **Ei, -er** [aɪ̯] フ**ラ**イシュ

30 das Fleisch [flaɪʃ]

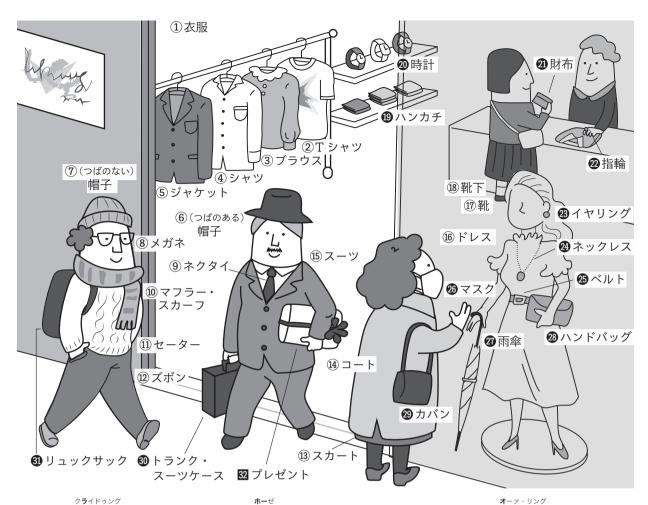
31 der Fisch, -e [fi∫] -e

32 der Reis [rais]









1 die Kleidung, -en ['klaidon]

② das T-Shirt, -s

3 die Bluse, -n ['bluze]

4 das Hemd, -en [hemt]

⑤ die Jacke, -n

6 der Hut, Hüte [hu:t] ['hy:tə]

7 die Mütze, -n

® die Brille, -n ['brɪlə]

9 die Krawatte, -n [kraˈvatə]

der Schal, -s
 [∫a:l]

① der Pullover, [pʊ'loːvɐ] ([pʊl'ʔoːvɐ])

② die Hose, -n

(4) der Mantel, Mäntel ['mant|]

(f) das Kleid, -er

(I) der Schuh, -e

(18) die Socke, -n ['zɔkə]

die Uhr, -en [uːɐ̯]

② das Portemonnaie, -s または Portmonee, -s [portmo'ne:]

9 der Ring, -e [rɪŋ] der Ohrring, -e

Mux·ケッテ

Malskette, -n
['halsketə]

#infin der Gürtel, ['gyrt]]

▼スケ Maske, -n ['maskə]

② der Regenschirm, -e ['re:gn_∫irm]

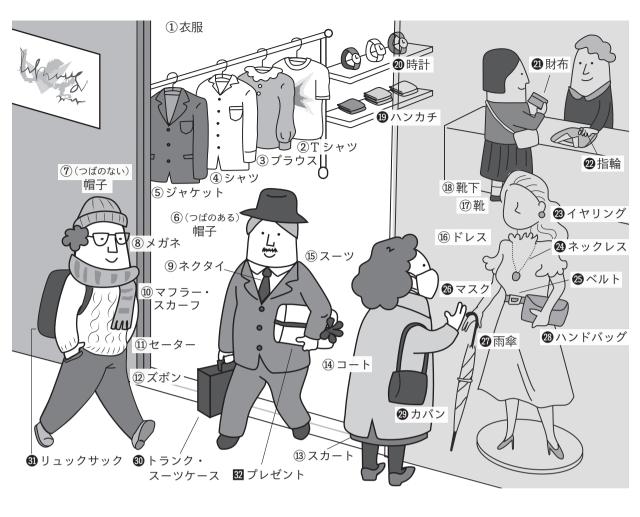
↑ ハント・タッシェ

Handtasche, -n
['hanttasə]

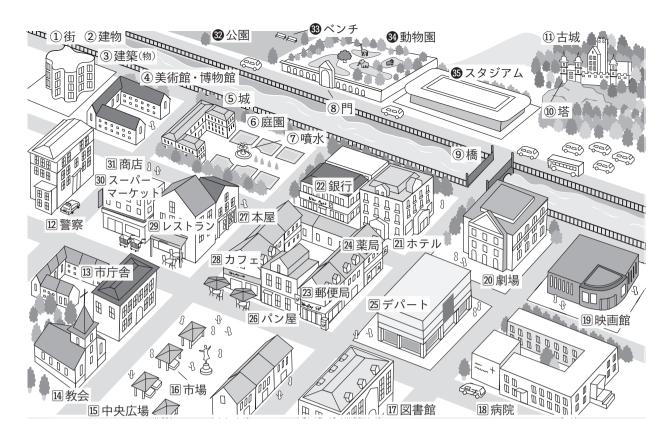
der Koffer, ['kɔfɐ]

1 der Rucksack, -säcke ['rukˌzak] 「デシェンク

2 das Geschenk, -e [gəˈʃɛŋk]



①	(2)	3
2	13	@
3	(4)	6
④	(B)	®
⑤	16	Ø
©	®	®
⑦	18	❷
8	©	ூ
9	@	1
(10)	②	32



シュ**タ**ット シュ**テー**テ(シュ**テッ**テ) ① die Stadt, Städte ['ʃtɛ:tə]) [ct:st/]] [stat] ゲボイテ

2 das Gebäude. -[ebicd'ep]

アルヒテク**トゥー**ァ

3 die Architektur, -en [arçitek'tu:g]

ム**ゼー**ウム ム**ゼー**エン 4 das Museum, Museen [muˈzeːom] [muˈzeːən] シュロス

シュ**レ**ッサァ ⑤ das Schloss, Schlösser [scl]] [ˈslæsɐ] **ゲ**ルテン **ガ**ルテン

6 der Garten, Gärten [gartn] [ˈgɛrtn] ブ**ル**ネン

7 der Brunnen, -[ˈbrʊnən]

トーァ ® das Tor, -e [grot]

ブ**リュ**ッケ 9 die Brücke, -n ['brykə]

トゥルム テュルメ 10 der Turm, Türme [torm] ['tyrma]

ブルク 11 die Burg, -en [bork]

ポリ**ツァ**イ 12 die Polizei [poli'tsa_I]

ラート・ハォス 🗓 das Rathaus, -häuser [rait hays] [szich-]

キルヒェ 14 die Kirche, -n [ˈkɪrçə]

マルクト・プラッツ 15 der Marktplatz, -plätze [markt plats] [-pletsə]

マルクト **メ**ルクテ 16 der Markt, Märkte [markt] [mɛrktə] ビブリオ**テー**ク

17 die Bibliothek, -en [biblio'te:k]

ク**ラ**ンケン・ハォス 🛚 das Krankenhaus, -häuser [krankn hays] [szich-]

19 das Kino, -s [ˈkiːno]

テ**アー**タァ 20 das Theater, -[te'arte]

ホテル 21 das Hotel, -s [hoˈtɛl]

バンク 22 die Bank, -en [baŋk]

ポスト ポスト・アムト エムタァ 23 die Post # total das Postamt, -ämter [post] ['postamt] [-emte]

アポ**テー**ケ 24 die Apotheke, -n [apo'te:kə]

カォフ・ハォス 25 das Kaufhaus, -häuser [ˈkaʊʃˈhaʊ̯s] [szich-]

ベッケ**ラ**イ

26 die Bäckerei, -en [bɛkəˈraɪ]

ブーフ・ハンドルング

27 die Buchhandlung, -en [ˈbuːx handluŋ]

カ**フェー** 28 das Café, -s [kaˈfeː] レスト**ラ**ーン

29 das Restaurant, -s [restoˈrɑ̃ː]

ズーパー・マルクト メルクテ 30 der Supermarkt, -märkte [zu:pe markt] [-merktə]

der Laden, Läden [ˈlaːdn̩] [ˈlɛːdn] 31

ゲ**シェ**フト

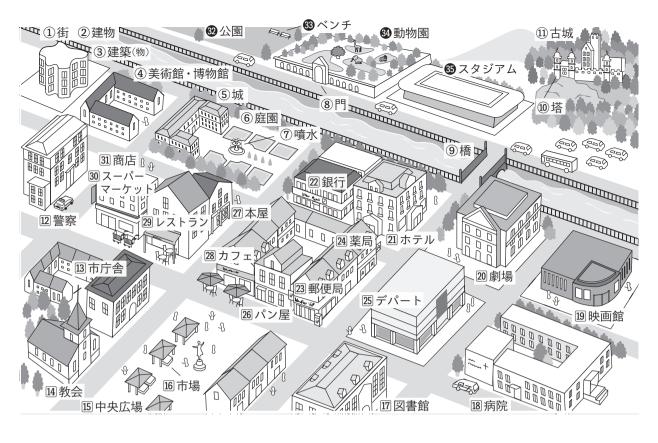
das Geschäft, -e [gəˈʃɛft]

パルク @ der Park, -s [park]

バンク ベンケ 🕲 die Bank, Bänke [baŋk] [ˈbɛŋkə]

ツォー @ der Z00, -s [tso:]

シュターディオン シュターディエン stadien
['ʃtaːdi̯ən] ['ʃtaːdi̯ən]



①	[13]	25
②	14	26
3	[15]	27
4	[16]	28
§	17	29
⑥	18	30
⑦	[19]	31
8	20	1
9	21	❷
(0)	22	❸
(1)	23	•
10		•

① 春	פעיב-עיק der Frühling, -e [ˈfryːlɪŋ]	® 月曜日 der №	E->ターク Montag,-e 'mo:nta:k]	③ 1月	ヤヌアール der Januar [ˈjanuaːɐ̯]
② 夏	der Sommer, - ['zɔmɐ]	⑩ 火曜日 der D	ディーンスターク Dienstag, -e [di:nsta:k]	36 2月	フェーブルアール der Februar [ˈfeːbruaːɐ̯]
③ 秋	der Herbst, -e [herpst]	20 水曜日 der N	ミットヴォッホ Mittwoch, -e 'mitvox]	③ 3月	אונש der <mark>März</mark> [mɛrts]
④ 冬	ヴィンタァ der Winter , - ['vmtɐ]	② 木曜日 der D	Straged Donnerstag, -e [donesta:k]	38 4月	קעידע der April [aˈprɪl]
⑤ 季節	die Jahreszeit, -e n [ˈjaːrəsˌtsaɪ̯t]	② 金曜日 der F	ਸ਼ਤ੍ਰਿਸ਼ਟਰ Freitag, -e Fraita:k]	③9 5月	der Mai [maɪ̯]
⑥ 新年	das Neujahr, -e ['nɔi̯,jaːɐ̯]	② 土曜日 der S	fuzg-9 Samstag, -e 'zamsta:k]	40 6月	der Juni [ˈjuːni]
⑦ カーニバル	カルネヴァル der Karneval, -e または -s ['karnəval]	29 日曜日 der S	Jンターク Sonntag, -e 'zɔntaːk]	④ 7月	der Juli [ˈjuːli]
⑧ イースター	オースタァン (das) Ostern, - ['o:sten]	② 週 die V	^g ォッヘ Woche, -n ˈvɔxə]	42 8月	アオ ダ スト der August [aʊ̯ˈgʊst]
⑨ クリスマス	ヴァイナハテン (das) Weihnachten, - ['vaɪ̯naxtn̩]	26 週末 das V	グォッヘン・エンデ Wochenende, -n 'voxnendəl	④ 9月	ゼプテンパァ der September [zep'tembe]
⑩ 大みそか	ズィルヴェスタァ der/Silvester, - das [zɪlˈvestɐ]	② 朝 der N	ENゲン Morgen, - 'morgṇ]	49 10月	オクトーパァ der <mark>Oktober</mark> [ɔk'to:bɐ]
⑪ 祝日	der Feiertag, -e [ˈfaɪ̯ɐˌtaːk]	28 午前 der V	74−7 · ミッターク Vormittag, -e ˈfoːɐ̯mɪˌtaːkl	45 11月	ノヴェンパァ der November [no'vembæ]
_① (会社などの) 休暇	ゥーァ・ラォブ der Urlaub, -e ['uːɐ̯ˌlaʊ̯p]	29 正午 der N	syg-9 Mittag, -e 'mita:k]	46 12月	デ ツ ェンパァ der Dezember [deˈtsɛmbɐ]
③ 誕生日	グプーァツ(ゲブルツ)・ターク der Geburtstag , -e [gəˈbuːɐ̯ts(gəˈbʊrts)ˌtaːk	⑩ 午後 der №	h-ハ・ミッターク Nachmittag, -e ˈnaːxmɪˌtaːk]	47 月	er Monat, -e ['mo:nat]
⑭ 結婚式	לie Hochzeit, -en ['hɔxˌtsaɪ̯t]	③ 昼·日 der T	7-7 Γag, -e ^{(ta:k]}	48 年	das Jahr, -e [ja:ɐ̯]
⑮ カレンダー・暦	f der Kalender, - [ka'lende]	③ タ方・晩 der A	Abend, -e 'a:bņt]	⁴⁹ 時間 ・時代	die Zeit, -en [tsa _i t]
⑯ 祭り・祝い	das Fest, -e [fest]	③ 夜 die N	Nacht, Nächte naxt] ['neçtə]	⑤ 秒	ゼ ク ンデ die <mark>Sekunde, -n</mark> [zeˈkʊndə]
⑪ パーティ	die $Party$, -s ['pa:ti]	④ 真夜中 die №	ミッタァ・ナハト ネヒテ Mitternacht, -nächte 'mɪtɐˌnaxt] [-nɛçtə]	⑤ 分	is x−₹ die Minute, -n [mi'nu:tə]
				② 時間 (60分)	シュトゥンデ die <mark>Stunde, -n</mark> ['∫tundə]

① 春	⑧ 月曜日	③ 1月
② 夏	⑲ 火曜日	36 2月
③秋	② 水曜日	③ 3月
	② 木曜日	③ 4月
⑤ 季節	② 金曜日	39 5月
⑥ 新年	③ 土曜日	⑩ 6月
⑦ カーニバル	④ 日曜日	④ 7月
® 1-29-	② 週	⑫ 8月
⑨ クリスマス	②8 週末	④ 9月
⑩ 大みそか	②朝	④ 10月
⑪祝日	⑧ 午前	⑥ 11月
② (会社などの) 休暇	⑨ 正午	壬 12月
③ 誕生日	③ 午後	④ 月
⑭ 結婚式	③ 昼・日	⑱ 年
⑮ カレンダー・暦	② タ方・晩	· 時代
⑥ 祭り・祝い	③ 夜	⑨秒
⑰パーティ	③ 真夜中	⑤ 分
		^⑤ (60分)

	ヌル		アイン・ウント・ツ ヴァ ンツィヒ	※ 2 松の粉字	は,「1 の位 + und + 10 の位		アイン・ウント・ツ ヴァ ンツィヒスト
0	null [nol]	21	einundzwanzig		は, *100世 + und + 100位 (1はein)。以下同様です。		einundzwanzigst
1	アインス eins [aɪns]	22	שישידילי טיין אישידי שישידילי zweiundzwanzig	1.	エーァスト (エルスト) erst [e:gst] ([ɛrst])	22.	yヴァイ・ウント・ツ ヴァ ンツィヒスト zweiundzwanzigst
2	ッヴァイ Zwei [tsvaɪ̯]	23	ドライ・ウント・ツ ヴァ ンツィヒ dreiundzwanzig	2.	ツヴァイト Zweit [tsvaɪ̯t]	23.	ドライ・ウント・ツ ヴァ ンツィヒスト dreiundzwanzigst
3	हरू drei [draɪ̯]	24	ייר פייטיאר אי יסי יטיין פייטיין פייטיי vierundzwanzig	3.	dritt [drit]	24.	フィーァ・ウント・ツ ヴァ ンツィヒスト vierundzwanzigst
4	フィーァ vier [fi:ɐ̯]	25	דיטדי אילידיטייר פיטידיטייר fünfundzwanzig	4.	フィーァト viert [fi:ஜt]	25.	קביסי ישטר יש ידי טייר באר fünfundzwanzigst
5	fünf [fynf]	26	ゼクス・ウント・ツ ヴァ ンツィヒ sechsundzwanzig	5.	fünft [fynft]	26.	ゼクス・ウント・ツ ヴァ ンツィヒスト sechsundzwanzigst
6	ゼクス sechs [zɛks]	27	ズィーベン・ウント・ツ ヴァ ンツィヒ siebenundzwanzig	6.	ぜクスト sechst [zɛkst]	27.	ズィーベン・ウント・ツヴァンツィヒスト siebenundzwanzigst
7	ズィーペン sieben [ˈziːbṇ]	28	achtundzwanzig	7.	ズィープト (ズィーベント) siebt (siebent) [zi:pt] ([ˈzi:bṇt])	28.	achtundzwanzigst
8	acht [axt]	29	ノイン・ウント・ツ ヴァ ンツィヒ neunundzwanzig	8.	acht [axt]	29.	neunundzwanzigst
9	neun [noɪ̯n]	30	לקלארב dreißig [ˈdraɪ̯sɪç]	9.	neunt [noint]	30.	ドライスィヒスト dreißigst [ˈdraɪ̞sɪçst]
10	zehn [tse:n]	40	フィルツィヒ Vierzig [ˈfɪrtsɪç]	10.	ッェーント zehnt [tse:nt]	40.	フィルツィヒスト vierzigst ['firtsiçst]
11	elf [εlf]	50	קבעדערנ fünfzig [ˈfʏnftsɪç]	11.	ェルフト elft [ɛlft]	50.	קביסערבגר fünfzigst [ˈfʏnftsɪçst]
12	ッヴェルフ ZWÖlf [tsvœlf]	60	לבשקב sechzig [ˈzɛçtsɪç]	12.	ツ ヴェ ルフト zwölft [tsvœlft]	60.	ゼヒツィヒスト sechzigst ['zeçtsiçst]
13	ドライツェーン dreizehn [ˈdraɪ̯tseːn]	70	ズィープツィヒ Siebzig [ˈzi:ptsɪç]	13.	ドライツェーント dreizehnt ['draɪ̯tse:nt]	70.	ズィープツィヒスト siebzigst [ˈziːptsɪçst]
14	フィルツェーン vierzehn [ˈfɪrtseːn]	80	アハツィヒ achtzig [ˈaxtsɪç]	14.	フィルツェーント vierzehnt [ˈfɪrtse:nt]	80.	תאיירבא achtzigst ['axtsiçst]
15	フュンフツェーン fünfzehn [ˈfʏnftseːn]	90	אראשארנר neunzig ['nointsiç]	15.	フュンフツェーント fünfzehnt [ˈfʏnftseːnt]	90.	ノインツィヒスト neunzigst ['noɪ̯ntsɪçst]
16	ゼヒツェーン sechzehn [ˈzɛçtseːn]	100	フンダァト hundert, ['hondet] アイン・フンダァ einhunde ['aɪnˌhondet	ert 16.	ゼヒツェーント sechzehnt [ˈzɛçtseːnt]	100.	フンダァット hundertst, ['hondetst]
17	ズィープツェーン siebzehn [ˈziːptseːn]	1000	φπτυλππτυ θπτυ θπτυtausend, [ˈtaʊznt]eintausen eintausen	17.	ズィープツェーント siebzehnt [ˈziːptseːnt]	1000.	9 オゼンツト ア イン・タオゼンツト tausendst , eintausendst ['taʊˌzntst] ['aɪnˌtaʊˌzntst]
18	アハツェーン achtzehn [ˈaxtseːn]	100万	ミリオーン die Million, -en [mrˈli̯oːn]	18.	アハツェーント achtzehnt ['axtse:nt]		り数字のアクセントは1の位にある らある。「 ア イン・ウント・ツヴァン
19	ノインツェーン neunzehn [ˈnɔɪ̯ntseːm]	10億	ミリアルデ die <mark>Milliarde, -n</mark> [mr'li̯ardə]	19.	ノインツェーント neunzehnt [ˈnɔɪ̯ntseːnt]		´.」 也域によっては [ç] が [k] の音にな âもある。「ツ ヴァ ンツィク」
20	ッヴァンツィヒ zwanzig [ˈtsvantsɪç]	1兆	die Billion, -en [br'liom]	20.	ツ ヴァ ンツィヒスト zwanzigst [ˈtsvantsɪçst]		
			dert achtundvierzig zweiundzwanzig		2分の1 ein halb [halp]		ヘルフテ die Hälfte, -n (名詞) ['helftə]
27	*		ünf sieben g Euro neununddreißig (Ce	ent)	3分の1 ein dritte [ˈdrɪt̩]	el (数)	ドリッテル das(der) Drittel, - (名詞) [ˈdrɪtl̩]

0	21		21
1	22	1	22
2	23	2	23
3	24	3	24
4	25	4	25
5	26	5	26
6	27	6	27
7	28	7	28
8	29	8	29
9	30	9	30
10	40	10	40
11	50	11	50
12	60	12	60
13	70	13	70
14	80	14	80
15	90	15	90
16	100	16	100
17	1000	17	1000
18	100万	18	
19	10億	19	
20	1兆	20	
1648年		2 分の 1 (数)	
2022年		2 分の 1 (名詞)	
0,57		3分の1(数)	
27,39 €		3 分の 1 (名詞)	

横山 香 (よこやま かおり)

奈良大学文学部史学科教授。

大阪大学人間科学部卒業。大阪大学大学院言語文化研究科修了。博士(言語文化学)。 2016年より奈良大学にて共通教育ドイツ語担当。

研究分野はドイツのテレビ、雑誌、娯楽小説などのポピュラー文化。

© Kaori Yokoyama, 2022, Printed in Japan

名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング

2022 年 5 月 10 日 初版第 1 刷発行

著 者 横山香

制 作 ツディブックス株式会社

発行者 田中 稔 発行所 株式会社 語研

₹ 101–0064

東京都千代田区神田猿楽町 2-7-17 電 話 03-3291-3986 ファクス 03-3291-6749

組版 ツディブックス株式会社 印刷·製本 倉敷印刷株式会社

ISBN978-4-87615-378-7 C0084

書名 メイシカラマナブ ドイツゴトレーニング 著者 ヨコヤマ カオリ

著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本,落丁本はお取り替えいたします。



語研ホームページ https://www.goken-net.co.jp/

本書の感想は スマホから↓





名詞からまなぶ ドイツ語トレーニング

ためし読みはここまでです。

Webページへ

